



4/29 長い冬季閉鎖期間を終えオープン 二子島開き(二子島森林公園)



▲大自然を五感で感じられる湖畔

冬季間閉鎖していた二子島森林公園がオープンを迎え、初日からキャンプをする人や白鳥ボートに乗る人などで賑いを見せました。二子島はマイクロツーリズムにはピッタリの場所。喧騒から離れ、雄大な自然に囲まれながらの非日常を楽しめます。

親子で白鳥ボートや散策を楽しんだ市内在住の家族は「近場でこんなに楽しめるなんて最高！」と目を輝かせていました。

4/29 綺麗な荒川を後世に受け継ごう 第17回 荒川クリーン作戦(荒川河川敷)

「清流」荒川を考える流域ワークショップ主催のクリーン作戦が行われ、地域住民や荒川中学校の生徒で荒川河川敷のごみ拾いを行いました。

参加した荒川中学校の生徒は「思っていたよりゴミが少なく、清流荒川がきれいなこと、そして地域から愛されているということを実感した。この綺麗な荒川を後世に受け継いでいけるよう、自分たちでできることを考えたい。」と話していました。



▲荒川中学校全校で参加しました

5/3~5 新しい名産！猿沢のタケノコ大好評 ゴールデンウィーク『みどりの里春祭り』(朝日みどりの里)



▲さまざまな工夫を凝らし販売する、地域おこし協力隊の木村隊員

今年のゴールデンウィークも多くの来場者で賑わいを見せた朝日みどりの里(道の駅朝日)。屋外に設置されたブースの一角で、猿沢竹林整備組合が地域自慢の朝採れタケノコを販売し、猿沢集落で活動している地域おこし協力隊も活動PRを兼ねて販売のお手伝いをしました。

並べられたタケノコは毎日採れたてのもので、購入者からも大好評。連日、売り切れで、地域の新しい名産を市内外にアピールすることができました。

5/9 スペシャルアンバサダーが村上市を紹介 本間日陽さんがふるさとの各所をPR(市役所ほか)

昨年12月に村上市のスペシャルアンバサダーに就任したNGT48の本間日陽さんが、TeNYテレビ新潟で毎週月曜深夜24時59分から放送中「ロッチ×NGT48のアイドルってなんだ？」の収録で市役所を訪れました。

収録では、お笑い芸人のロッチの2人とNGT48のメンバーが高橋市長を訪問し、出演者と市長とで楽しいかけあいが行われました。

番組内では市内の他の施設や店舗なども紹介され、5月23日・30日に放送が行われました。



▲出演者が高橋市長を囲んで記念撮影

4/24 3年ぶりの開催、集落の力でさわやか街道に 第12回桃川峠さわやか街道クリーン作戦(国道290号チェーン着脱場)

桃川集落による「第12回桃川峠さわやか街道クリーン作戦」が実施されました。毎年集落外からも協力してもらっていますが、今回はコロナ禍を考慮して集落住民を中心に実施。それにも関わらず約100人が参加し、集落に対する思い入れの強さを感じました。

年々ごみの総量は減少しており、環境美化の意識向上が図られています。



▲大人も子どもも、活動を通して交流が図られました

4/24 桜と春の陽気を楽しみながら 春の健康ウォーク(上大鳥集落～菅野八幡宮)



▲春を満喫しながら歩く参加者

山北地域で桜並木を楽しめる上大鳥集落から山北郷の総鎮守である菅野八幡宮までのおよそ12kmを歩く「春の健康ウォーク」が開催されました。

天候に恵まれ春の花を眺めながらウォーキングを楽しんだ齋藤梅子さん(寒川)は「普段は車で通り過ぎる集落の中をゆっくりと歩き、新鮮に感じられて良かった。」と話してくれました。

4/26 皆さまの善意に感謝 人道支援募金を赤十字新潟県支部へお届けしました

ロシアによる軍事侵攻を受けて困難に直面しているウクライナの人々を人道支援するため、3月4日から5月31日まで、市役所本庁舎および各支所に募金箱を設置し、人道支援募金の取り組みを行いました。

市長は4月26日、4月15日までに皆さまからお寄せいただいた募金85万1千円を一刻も早く支援に役立てていただくため、日本赤十字社新潟県支部に直接お届けしました。



▲赤十字国際委員会などを通じ、人道危機対応や避難民の救援活動に役立てられます

4/29 溪谷に鳴り響く朝日三面川太鼓 春まつり「縄文ピクニック」(縄文の里・朝日)



▲郷土愛を受け継ぎながら叩かれる太鼓

新緑と山桜が綺麗に映える中、代々引き継がれてきた「朝日三面川太鼓」が小川小学校の高学年の児童により演奏され、まつりの賑わいに一役買いました。

お客さまの前で太鼓を叩くのは初めてというリーダーの小田銀丈さんは「98点の出来!」、副リーダーの石栗歩乃花さんは「緊張したけど、練習の成果が出て良かった。」と満足げな表情を浮かべていました。